

医療給付を受けるとき

知っておきたい八項目

- (1) 保険証は必ず持って行くつもりです。
- (2) 診療を受けるときは必ず被保険者証を窓口に出しなさい。若し被保険者証を提出しないで診療を受けると、保険診療にならず、慣行料金(かなり割高な)を支払わねばなりません。
- (3) 治療上の注文はしないこと。医師は、その病状や症状に合った処置や投薬をしてくるので、薬が欲しいとか、こんな注射をして下さいなどと注文をつけてはいけません。
- (4) 診療を受けたい、薬だけをもらうのはやめましょう。よく窓口で、こんな具合です。かからあと二日分とか三日分とかの薬だけいただきたいというように人が居りますが、これはいけないことです。診察を受け、体の状態にあった

建設のあゆみ

3 月 ~ 4 月

完成した事業		
① 町営住宅新築工事	10戸	
② 宮前三本松線道路及び水路改修工事	474.5m	
③ 上町青年館新築工事	82.6㎡	
四月着工及び工事中の事業		
① 道路舗装工事	1,686.5m	
宮前三本松線	748.5m	
栗山庚申TCC線	122.6m	
② 本町地先排水路流末工事	30戸	
③ 県営住宅新築工事	411.9㎡	
④ 消防署分署新築工事	923.2㎡	
⑤ 横小増築工事	732㎡	
⑥ 国民保養センター		

投薬をしてもいいでしょう。(5) 通院が出来る程度の病状で、往診を頼むことはやめましょう。

よく「病院へ行くのはおっくうだから往診を頼もう」という人がいますが、これは忙しい医師に迷惑をかけるのと同時に無駄な費用(往診料)を支払うことになるので、

(6) 同じ病状や怪我で医師を転々と変えることはやめましょう。

近所の人たちの評判であちらこちらと医師を変え、人がよくいいますが、よほど特別な病状でもない限り、そんなに治療に違いのある筈はありませんのでやめましょう。いたずらに無駄な費用を支払うことになりません。

(7) 急病以外のときは医師の定めている時間内に受診しましょう。

病院や病院には診療時間が定められていますので、急病以外はこの時間内に診療を受けましょう。これは医師が充分休養をとったり、また新しい医学の勉強等をして患者に十分な治療をするために必要な時間に当てられるわけですから、

(8) 家庭医(ホームドクター)を決めておくことが必要です。それは、気がころが知れていると何でもつみかさず相談できるし、またむずかしい病気で専門医に紹介しても、それ等の便宜をはかって預け

思いがけぬ史料も出て

町史編さん順調

昨年の夏以来、町史編さんのための史料を集めるのに、お忙しい町民の皆様は大へんご厄介をかけてきましたが、相当量提供していただきました。たので一般的な史料については一応区切りをつけることにしました。ご協力下さいました方々のご厚志に対し深くお礼を申し上げます。

集まりました史料の中には思いがけぬ貴重なもの、当時の世相をまざまざと想像させる、うなずかせるものが数多くありました。農村地帯のごとです。農耕に関するものが多くは当然ですが、中々かんがい用水の紛争が一番多く、高谷川、坂田池、鳥喰沼などの水をめぐりそれぞれに随分激しかったことがわかりました。早害、風水害、病虫害で凶作を訴え年貢の軽減を願ったり、生活苦から年貢

が納められず、二両か三両の年給金で奉公に行く例もかなりの数に上っています。

ある年(年代不詳) 寺方村で七月中に大雨があり、真珠院と稲荷様の脇道から夥しい山崩れの土砂が流れ出し用水溝も往還道(現在の県道)も埋めてしまった

という文書を発見、昨年十一月の集中豪雨の時を思い起し感慨を新にしました。

これらの史料を裏づけとしてこれから原稿書きにとりかかりますが、必要な史料はまだまだ足りませんので引き続きご協力をお願いします。

(町史編さん委員会)



横芝句会三月例会

土屋 栗水
風塵のつづく日ぐせや椿咲く
この道や彼岸に遠し基角の忌
吹雪かれて斜に落ちし椿かな
基角忌の一字解せぬ床の軸
藤代 ゆう
糸にさす椿背丈に余りけり
基角忌や夫酔うほどに論しき

玉虫たけし
抱く椿かすり木綿に影映えて
短冊も変えず基角忌廻り来し
学舎のチャイム明るし茅花抜く
皮剥げば茅花幼き日の香り
川島 啓明
潮騒の山ふところや椿咲く
椿手に耕がつつむ肢体かな
鈴木 草園
早春の息吹き彩なす木々の肌
若梅あやめ
春一番吹き荒れて居て基角の忌

田島 千女
野に立つや茅花すくすく風ほほに
渡辺きよ子
子と育つ妻の手塩の庭椿
孫の手にぬくもる茅花もらいけり
紅雲
基角忌の元祿の世を偲ぶかな
渦潮に吸われる連命の椿かな
庄長
思い出の茅花を抜きし野に語る
石果子
歳時記と我れも古びぬ基角の忌
赤鳥
芋穴に捨て嵩みたる椿かな
高品虎洞
基角忌や酒席と変る句座の果て
萌香
茅花つんつん土手の息吹の径
たのし
狸溪
袖だけが通る坂道椿照る

次回のお知らせ
四月十七日(土)
午後一時 栗水居
兼題 たんぼぼ・虻